

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	目黒区児童発達支援センター すくすくのびのび園	公表日	R8年 5月 日
------	-------------------------	-----	----------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	5		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	6 (その他2)		職員配置は、人数のみならず専門性や知識・経験の有無も問われる為、質の向上が課題。子ども像によっては、クラス定員の調整を視野に入れても良いか。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	2 (その他1)		元は成人施設だったところを使用しているので仕方ないが、階段の高さが子どもに合っていない。トイレの使い勝手が良くない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	0 (その他1)		療育室の床は固めなので、転倒した時のけがのリスクはある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	1	空いている部屋さえあれば、必要に応じて認めることができる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	1 (その他1)		PDCAが効果的に実施されている例もあれば、そうでない場合もあり、もっと意識した方が良いか。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0 (その他1)		実感できていない職員もあり、「利用者の声を聞く」ことに対するより明確な動機づけが必要。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0 (その他1)		会議では言えないような意見を個々で話せる機会はあるが、様々な意見があり、業務改善までにはつながらないことがある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	0 (その他1)		評価結果のフィードバックを業務に活かす機会・工夫が必要。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1 (その他2)		園内研修は回数増の希望がある。外部研修は個々の職員の意識や受講し易い環境の有無により、参加状況に差が生じる。職員が公平に研修の機会を得られる工夫が必要。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	2 (その他1)		行動観察等による評価は常に行っているが、発達検査・知能検査以外の評価ツールを上手く活用できると、より妥当性のある支援が提供できると思われる。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	1 (その他1)		各項目への支援はしているが、支援計画にすべてを記載するのはボリューム過多の可能性もある。が、大事な支援項目であるため、書式や記載方法の検討を進めたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0 (その他1)	セルフプラン利用の児童が大半でサービス担当者会議がない分、必要に応じて併用園や関係事業所との連携は行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0 (その他3)	担当職員が都度状況に応じて個別に対応している。	他機関と連携してきた実践例を形に残しておく、今後の事例に活かせるのではないかな。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0 (その他1)		保護者から依頼を受けた時に対応するので「一部実施」と捉える見方もあるが、保護者の希望があればどのお子さんに対しても連携を図る用意がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0 (その他1)		上記設問26に同じ
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	12	0 (その他3)		発達支援事業所連絡会の実施等、地域の支援力の向上への取り組みを、園全体の取り組みとして浸透させたい。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	2 (その他1)		日常的に専門家(ST,OT,PT等)の助言を受けられる環境があるが、日中の外部研修は参加が困難な場合もあり、職員が公平に研修を受ける機会を保障する仕組み作りが必要。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	8 (その他1)		事業の性質上、在園児とそうでない児童との交流の場を設けるのは難しい。地域の子育て交流イベントの告知をする等、間接的な支援方法を探っていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	0 (その他1)		ペアトレは性質上実施対象が限定的になる為、上記32同様地域の社会資源の情報提供等、間接的な支援方法も考えていきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0		「全家族にできていないわけではない」という声もある。面談は定期的に全家庭と実施するので、それに加えて日々の働きかけや配慮の目線も全家庭に向ける意識が必要である。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	1 (その他1)		親の会への支援は微力ながらしている。きょうだいはまだ低年齢の子どもが大半なので、実際「交流」という形ではなく、療育中の保育という形で支援しているのが現状である。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0 (その他1)		紙媒体が主。必要に応じ課とも協力しながら、デジタル化を進めていけるといいのでは。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	3 (その他2)	事業の性質上行事のようなものはないが、発達支援マルシェを行っている。又、民生委員等からの見学の受入れは行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0 (その他1)		避難訓練は定期的に行っている。BCPを職員間に浸透させることが課題。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0 (その他1)		安全管理に関する措置は成されているが、いざという時に個々の職員がすぐ対処できる状態にしておくのが課題。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	0 (その他1)		現状では身体拘束をしていないが、起こり得る状況とは何かを考え、未然に防ぐ取り組みが必要。	